

一般国道53号

片側交互通行規制(終日) 変更のお知らせ

利用者の皆様へ

お知らせとお願い
 一般国道53号において橋梁補修工事の為、下記のとおり片側交互通行規制を終日で行っているところですが、作業内容を見直し規制時間帯を変更しましたのでお知らせします。
 引き続き通行中の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力よろしくお祈いします。



区間

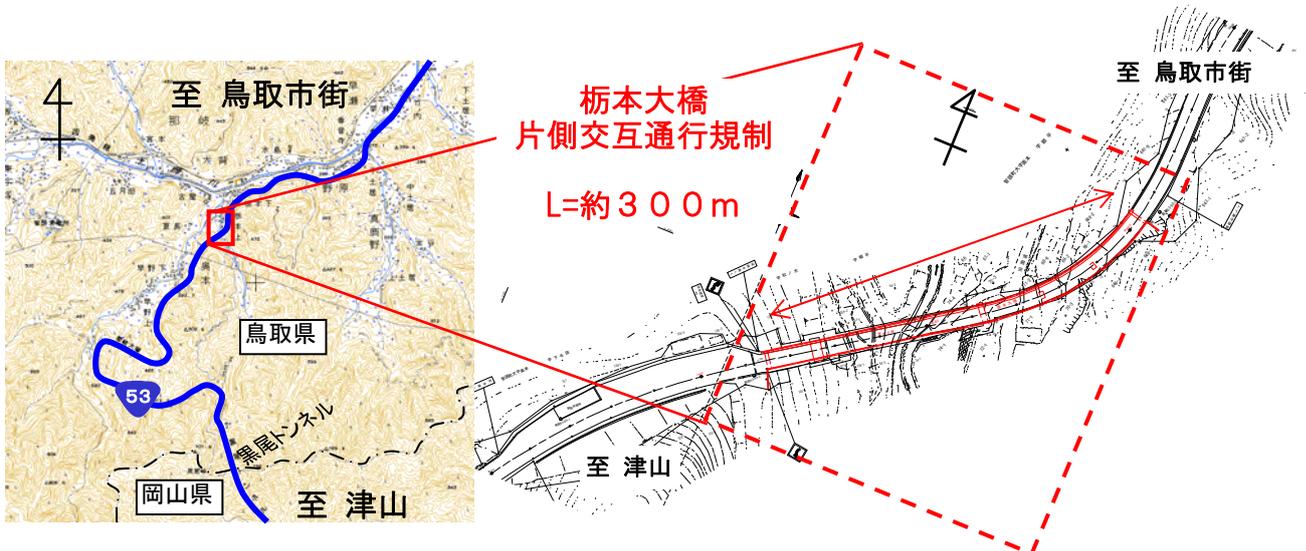
一般国道53号 栃本大橋 (鳥取県八頭郡智頭町栃本地内)

当初予定

期 間	時 間 帯	規 制 内 容
平成22年10月12日 (火) ～ 12月17日 (金) 予定	終日	片側交互通行
平成23年 1月 4日 (火) 予定 ～ 2月下旬 予定		

変更予定

期 間	時 間 帯	規 制 内 容
平成22年10月12日 (火) ～ 12月17日 (金)	終日	片側交互通行
平成23年 1月 4日 (火) 予定 ～ 2月下旬 予定	昼間	



お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会

国道53号片側交互通行規制のお知らせ

とちもと
～栃本大橋の補修工事を行います～

一般国道53号の鳥取県八頭郡智頭町栃本地内において、栃本大橋の補修工事のため、終日の片側交互通行規制を行いますのでお知らせします。

通行規制内容

- | | |
|-------|---|
| ○規制箇所 | 一般国道53号 鳥取県八頭郡智頭町栃本地内 |
| ○規制内容 | 片側交互通行（終日） |
| ○規制期間 | 平成22年10月12日(火)～12月17日(金)（予定）
平成23年 1月 4日(火)～ 2月下旬（予定）
※12月18日(土)～1月3日(月)は、年末年始の交通量増加による混雑が予想されるため、道路工事を抑制しています。 |
| ○工事内容 | 橋梁の補修 |

※詳細は別紙チラシのとおり

（参考）橋梁保全の取り組みについて

中国地方整備局が管理する橋梁の多くが高度経済成長期（1955年～1973年）に建設され、老朽化が進んでいます。重大な損傷や致命的な損傷に至る前に、予防的な補修を行い橋梁の長寿命化を図ることにより、橋梁の健全性の維持とライフサイクルコストの縮減に取り組んでいます。 ※詳細は別紙【参考資料】のとおり

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435（代表）

副所長（道路） 角田 真一

【工事担当】 道路管理第二課長 田中 弘司

【広報担当】 調査設計課長 姫村 幸造

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

一般国道53号

片側交互通行規制(終日)

利用者の皆様へ

お知らせとお願い
 国道53号では橋梁の補修工事を行っており、智頭町栃本地内の栃本大橋で片側交互通行規制を終日で行います。ご迷惑をおかけしますがご協力よろしくお願ひします。

※なお、終日規制終了後も必要に応じて昼間の片側交互通行は実施されます。



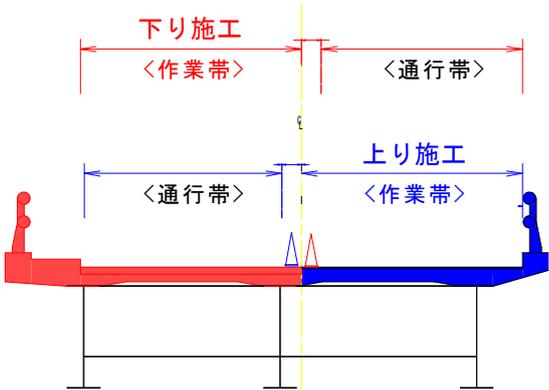
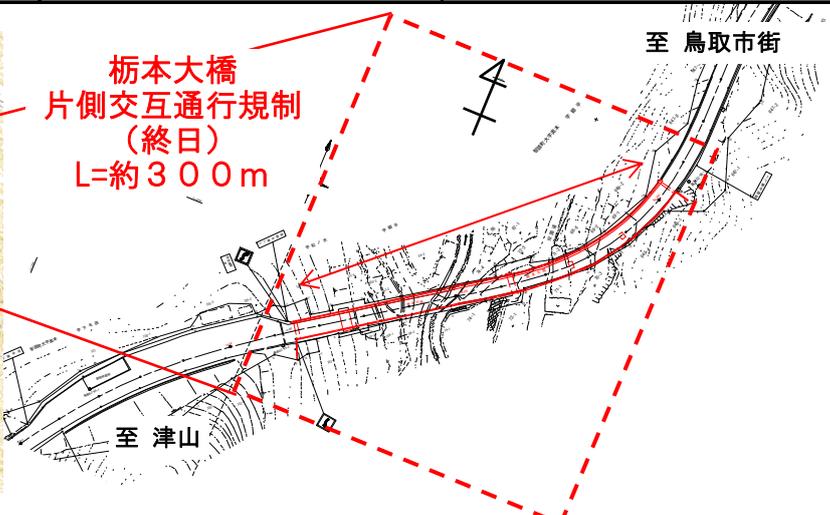
区間

一般国道53号 栃本大橋 (鳥取県八頭郡智頭町栃本地内)

期 間	時 間 帯	規 制 内 容
平成22年10月12日 (火) ～ 12月17日 (金) 予定	終日	片側交互通行
平成23年 1月 4日 (火) 予定 ～ 2月下旬 予定		



栃本大橋
 片側交互通行規制
 (終日)
 L=約300m



床版補強、ひびわれ補修、高欄更新等をおこないます。

※上り下りは作業内容で方向が変わります。

断面修復工

ひび割れ注入

**床版補強
(炭素繊維シート)**

橋梁保全の取り組み

●「事後保全」から「予防保全」への転換

鳥取河川国道事務所が管理する橋梁は、平成22年4月1日現在、277橋あり、建設後の平均経年数は約30年となっています。

1955年から1973年にかけての高度経済成長期に全体の約35%の98橋が建設されています。

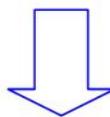
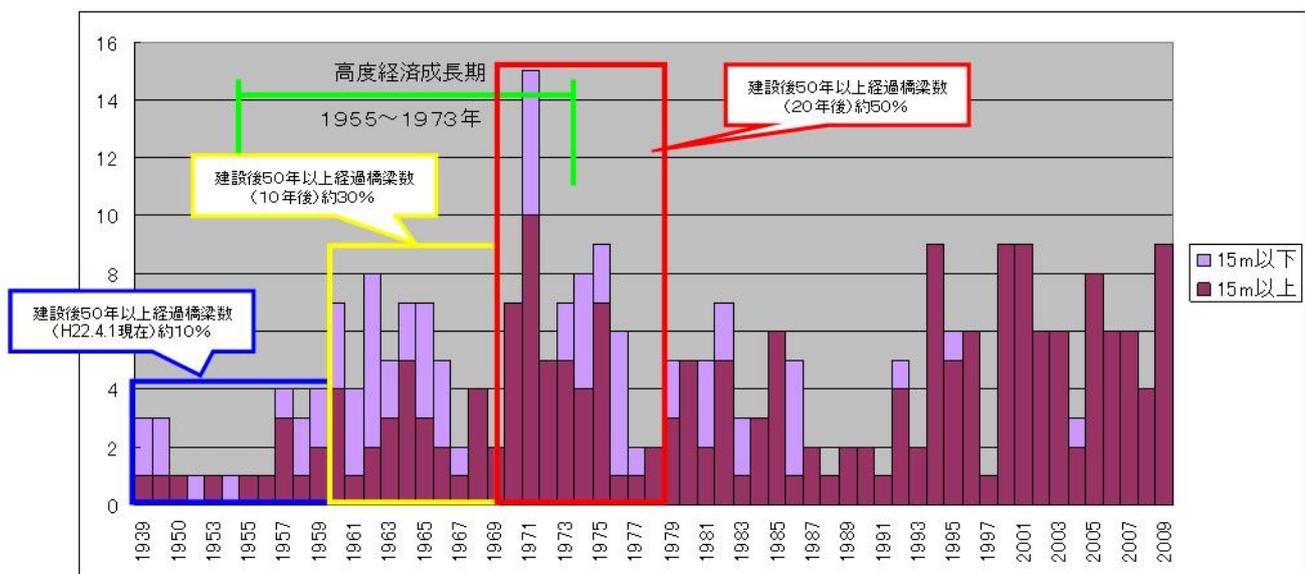
今後これらの橋梁の高齢化が一斉に進むことから、集中的に多額の修繕・架替え費用が必要となることが懸念されます。

鳥取河川国道事務所における建設後50年以上を経過した橋梁数の全管理橋梁数に占める割合は、現在の約10%から、10年後には約30%、20年後には約50%を超えることとなり、老朽化が急速に進んでいきます。

定期点検による確実な状態把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が望まれています。

* 対象橋梁は橋長2m以上

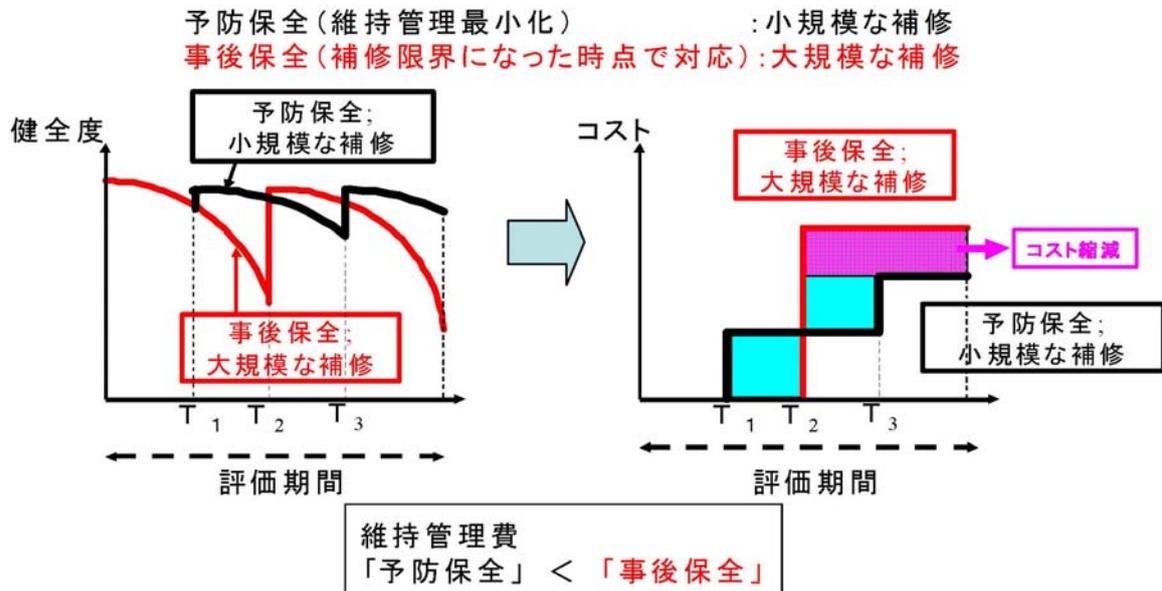
建設年次別の橋梁数



定期点検により橋梁の状態を把握し、従来の事後的な修繕及び架替えから、その点検結果に基づき、**早期発見・早期補修の予防保全を計画的に実施**、橋梁の長寿命化を図ることにより、幹線道路ネットワークの**安全性・信頼性の確保と橋梁のライフサイクルコストの縮減**を図るために長寿命化修繕計画を策定し、実行します。

● 予防保全による健全性の維持とライフサイクルコストの縮減

重大な損傷や致命的な損傷に至る前に、予防的な補修を行い橋梁の長寿命化を図ることは、橋梁の健全性の維持とライフサイクルコストの縮減に繋がります。



● 栃本大橋の損傷状況および補修概要

